

第7回新潟県データサイエンス人材育成協議会議事概要【案】

日 時： 令和6年12月15日（日） 13:30～14:30

場 所： 新潟大学ライブラリーホール及びオンライン（Zoom）

出席者： 別紙のとおり

はじめに、坂本理事より開会の挨拶があった後、出席した各委員から一言ずつ挨拶があった。

1. 報告事項

（1）第6回協議会議事概要の確認

第6回新潟県データサイエンス人材育成協議会議事概要の確認があった。

（2）協議会委員名簿について

新潟大学山田委員より、名簿に基づき、協議会委員の報告があった。

2. 審議事項

（1）データサイエンス教育プログラム認定制度のカリキュラム変更に関する各大学の取組みと授業資料の共有について

新潟大学斎藤委員より、資料に基づき、データサイエンス教育プログラム認定制度のカリキュラム変更の概要について説明があった。

次いで、山田委員長より、本カリキュラム変更による、各大学での取り組みや現在のデータサイエンスに関する状況について照会があり、以下のとおり報告があった。

＜新潟大学＞

全学部へ各分野に関する生成AIの活用事例の提出を依頼している、また、企業にも活用事例の提出を依頼している状況。

＜開志専門職大学＞

基礎応用レベルは獲得済みであり、現在はリテラシーレベルの立ち上げを進めている。生成AIの対応については検討中。

＜長岡技術科学大学＞

認定制度のカリキュラム変更で新しいキーワードが追加されれば、授業がそれらのキーワードの内容を含むように対応してほしいと依頼している。一部の分野ではすでに生成AIの内容を含んだ授業をしており、他の分野も対応可能と思われる。

＜新潟工科大学＞

これから対応を検討していく予定。

＜新潟リハビリテーション大学＞

担当教員がバラバラなので情報整理中。今後対応を検討していく。

山田委員より、協議会に参加している各大学には生成 AI に関する資料を本協議会に共有していただきたい旨の説明があった。また、企業の方には可能であれば生成 AI やデータサイエンスに関する活用事例の資料を本協議会へ共有をしていただけるとありがたい旨の説明があった。なお、共有いただいた資料は授業等で活用したい旨の説明があり、参加委員から以下のとおり回答があった。

＜開志専門職大学＞

協力できればと思っているが、年度内は難しそう、生成 AI は担当が別なので確認する。

＜長岡技術科学大学＞

大学からの許可があれば、教材資料の提供は可能だと思う。生成 AI の教材はすでに作成されたものがあるので、それについては今後共有できると思う。また、数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアムの教材分科会にリテラシーレベル教材として人工知能や機械学習についての教材を提出したので、そちらも近いうちに掲載されるだろう。

＜新潟工科大学＞

教材を出すのは問題ないが、授業のスライドだけになってしまって、あまり参考にならないかもしれない。

＜新潟リハビリテーション大学＞

担当教員が外部教員なので資料提供は難しい。

＜インサイトラボ＞

生成 AI の事例は表に出せるものは少ないので難しいが、データサイエンス関連であれば出すことはできるかと思っている。ただクライアントがいるので資料を提出する場合は確認が必要になる。

＜BSN アイネット＞

生成 AI に関して実施しているパートナーの許可がいるので確認してからになるが、提供できるものはあると思う。

山田委員より授業資料の提供に関してはまだ調整・検討が必要になると思うので、改めてメールで相談等させていただきたい旨の説明があった。

3.その他

(1) 鈴木委員より、日本ソーシャルデータサイエンス学会のシンポジウム・研究発表会が 2 月 22 日、23 日に開志専門職大学米山キャンパスにて開催予定である旨の報告があり、周知いただけたとありがたい旨の説明があった。

(2) 坂本理事より、大学の教育現場として有料版の生成 AI を取り入れていくことに対し

てどう考えているかとの照会があり、以下のとおり回答があった。

＜長岡技術科学大学＞

長岡技大では、各研究室では研究費を使用して購入しすでに有料版を使用しているが、大学として組織的に導入するかは不明。組織的に導入するのであれば、費用のかかり方も問題になるのではないか。

＜新潟大学＞

有料の生成AIは個人的に契約して既に使用しているが、経費を使って組織的に使えるようになればより良いと考えているが、管理面については検討が必要。

＜開志専門職大学＞

導入することでプラスの面もあるが、コピペばかりして自分の頭で考えない状況になってしまう部分もあるので指導が難しい面もある。

＜新潟工科大学＞

コピペばかりするので使い方は要注意かと思っている。

（3）齋藤委員より、DXハイスクールについて、県内の近隣高校で何をすればよいがわからないという場合は、本協議会メンバーによる声掛けやフォローをお願いしたい。また新潟大学にご紹介いただければ対応する旨の報告があった。

別紙

第7回新潟県データサイエンス人材育成協議会出席者

出席者（順不同）

坂本 信	新潟大学 理事
山田 修司	新潟大学
齋藤 裕	新潟大学
五島 謙司	新潟大学
鈴木 源吾	開志専門職大学情報学部教授
吉田 貴裕	開志専門職大学情報学部教授
湯川 高志	長岡技術科学大学
中村 誠	新潟工科大学
木村 和樹	新潟リハビリテーション大学
阿部 賢太	株式会社 BSN アイネット
遠山 功	INSIGHT LAB 株式会社
本間 康栄	東京アプリケーションシステム株式会社
伊藤 能成	新潟大学研究企画推進部研究推進課
柄澤 槟	新潟大学研究企画推進部研究推進課